

武漢コロナウイルス（COVID-19）に苦悩する皆さまへ
医薬品パッケージの製造で医療に携わる私達からお伝えしたい事

■医療現場の苦悩

治療にあたる医療従事者を誹謗する、心無いご近所の方々が少なからず存在し、医療機関での退職希望者が増加しています。富山県だけでなく、東京都などの大都市圏においても、重症者は極めて少なく、病床数は充分足りていますが、退職による医療崩壊が起きかねない状況です。

間違った知識から来る不安は他者へ拡散され、巨大な恐怖を創り出してしまいます。医療機関を守る為、この恐怖の空気に打ち勝つ努力をし、正しい知識を身に付け、正しい怖がり方をする必要があります。

■正しい怖がり方

ライノ、コロナ、アデノ、インフルエンザ等のウイルスによる疾患を『風邪症候群』と呼びます。特にインフルエンザ起因の国内死亡者は、ワクチンや治療薬が在るにも関わらず年間 3,000 人（超過死亡概念：10,000 人）にも及ぶので、風邪を甘く見てはいけません。

幸いな事に、武漢コロナの毒性はインフルエンザよりも弱く、2～3日での完治や無症状の方が殆どで、特に無症状者はマスク着用が必須までの感染力が無い様です。研究が進んだ今では、未知ではなく既知のウイルスと成りましたので、近く、指定感染症から外され、インフルエンザと同等の扱いに成る予定です。

また、毎日の様に多くの感染者が報告されているのは、検査数が激増しているからです。しかし、PCR検査は、武漢コロナと従来のコロナを区別する事が極めて困難で、それゆえ、他のウイルスにも反応する事さえあるのです。

従来の風邪と同様に、「手洗い」と「うがい」が予防策であり、それ以上でも、それ以下でもありません。重症化するのには、免疫系の疾患をお持ちの方が多いため従来の風邪と同じです。故に、健康に自信の無い方や、その様なご家族が居る方で無い限り、マスクを予防策と考えるのは適切とは言えません。

■経済活動で救える命

健康被害が小さいと分かっているながら、過剰な自粛をしてしまうのは、世間から非難されるのが怖いからと云う方が多いのではないのでしょうか。しかし、その世間体が、飲食、宿泊、観光、エンターテインメント等に関わる方々の命を危険に晒している事に気付くべきです。日本国内では、失業率が1%上昇すると、自殺者が 2,400 人増加する統計があります。2020 年 9 月現在の武漢コロナによる死亡者の約 2 倍です。

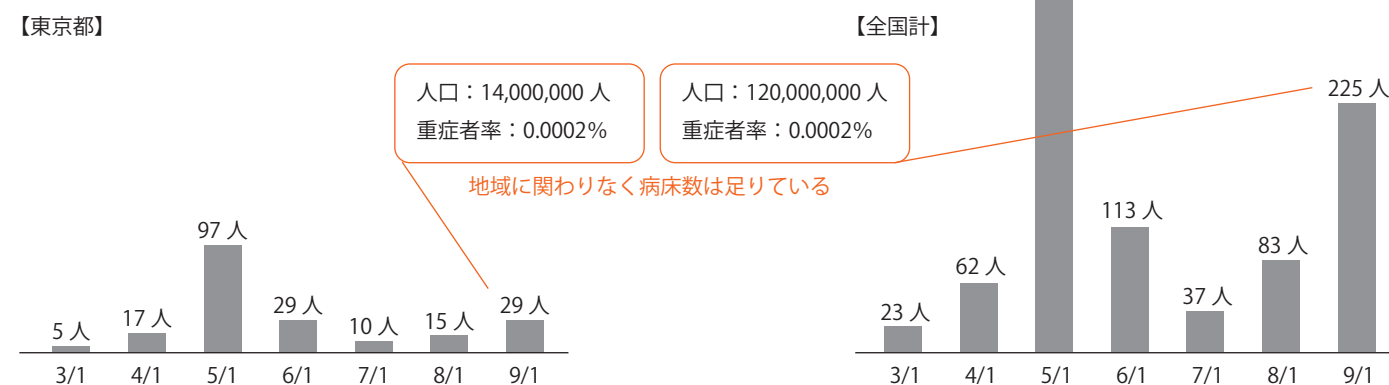
遙か昔から人間とウイルスは共存して来ており、戦う相手ではありません。戦うべきは、世間体を怖がっている自分自身の弱い心だと私は思います。生活を日常に戻し、経済活動を再開する事で、私達にも救える命が在るはずなのです。

健康保険や国民年金の維持など、社会的弱者を守る為の経済活動こそ、経営者に求められた責務であるとの思いから、この様なメッセージを発信致しました。お叱りがあれば、どうか私までご連絡下さい。平穏な日常生活の回復に向けたお話をさせて頂きたいと思います。

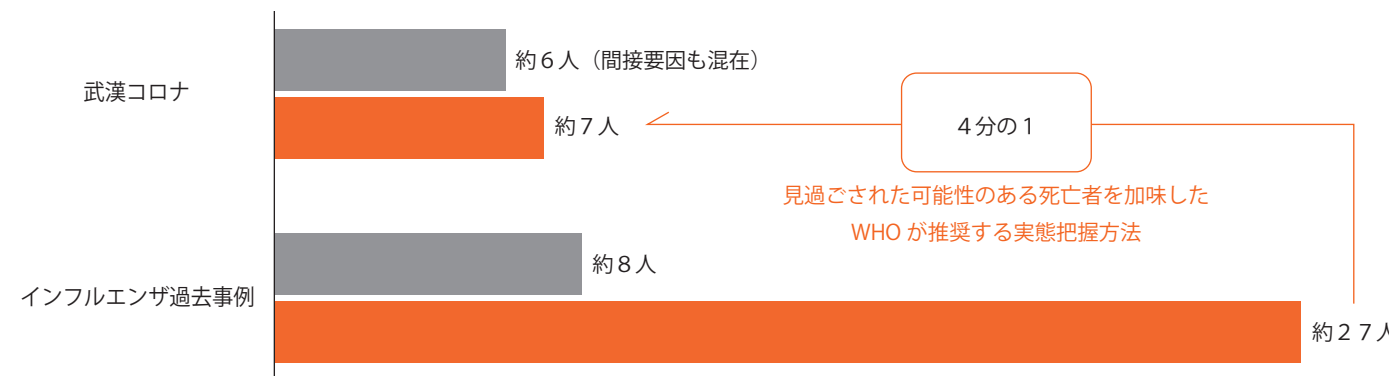
株式会社タイヨーパッケージ
代表取締役社長 楠 流維

2020/09/01

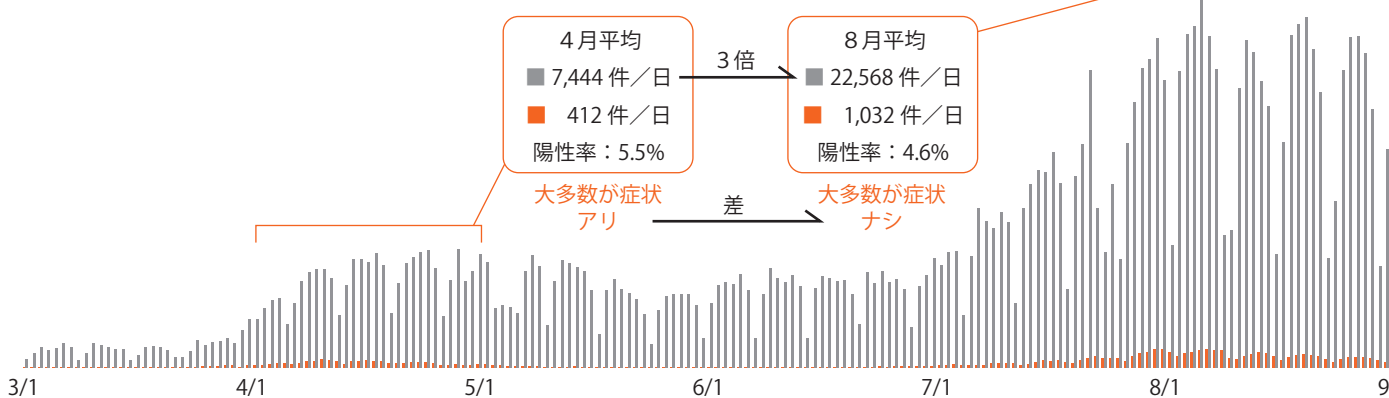
※1) その日現在の「重症者」



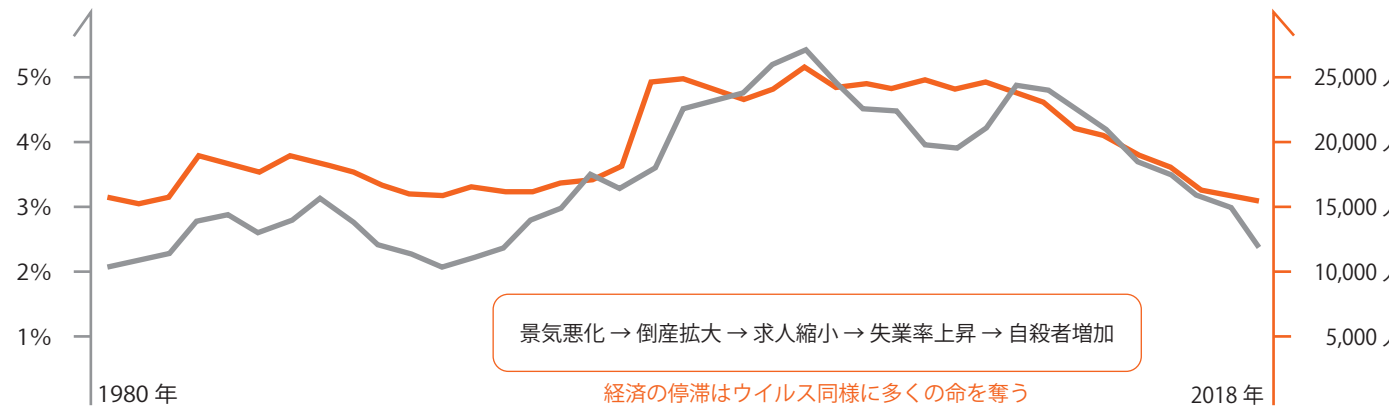
※2) 1日あたりの「直接要因」と「超過死亡概念」での死亡者



※3) 「PCR検査」と「陽性反応」の新規発生数



※4) 「失業率」と「自殺者」の相関関係



データ出展： 東洋経済オンライン 厚生労働省 総務省 警察庁 各ホームページ